

83 家畜衛生等総合対策

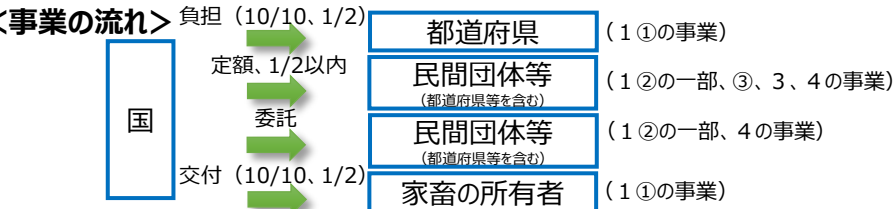
令和9年度予算概算要求額 家畜伝染病予防費 4,761百万円（前年度 4,761百万円）
国内防疫・水際対策 3,277百万円（前年度 2,982百万円）

<対策のポイント>
畜産振興、畜産物の安定供給と輸出促進を図るため、家畜伝染病予防法に基づき、口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、高病原性鳥インフルエンザ等の家畜の伝染性疾病等の発生予防・まん延防止対策を徹底するとともに、地域の家畜衛生を支える産業動物獣医師の育成・確保を図ります。

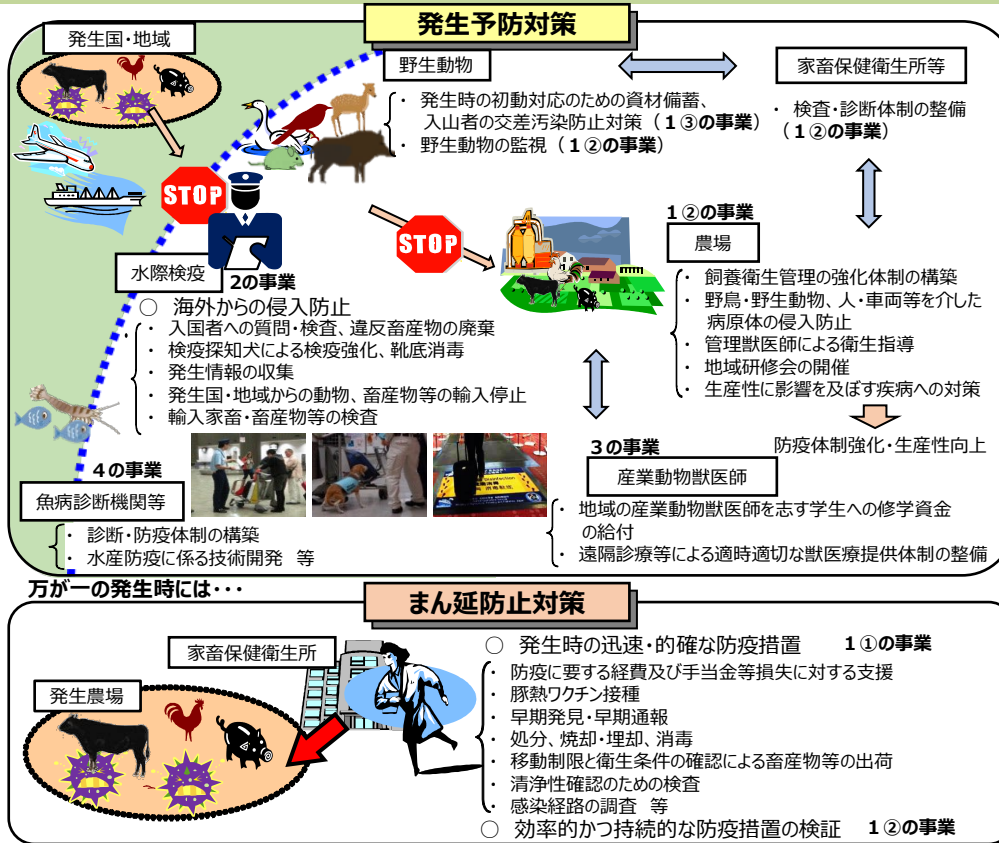
- <事業目標>
- 家畜・養殖水産物の伝染性疾病の発生予防・まん延防止
 - 地域における産業動物獣医師の育成・確保

<事業の内容>

1. 家畜の伝染性疾病の発生予防・まん延防止 5,608百万円（前年度 5,573百万円）
- ① 豚熱、高病原性鳥インフルエンザ等が発生した際に、家畜伝染病予防法に基づく防疫経費の支援、手当金・特別手当金の交付を行います。
 - ② 防疫体制強化に向け、ヨーネ病、牛伝染性リンパ腫、牛サルモネラ症等に対する家畜衛生対策、高病原性鳥インフルエンザ、アフリカ豚熱対策にも資する農場の飼養衛生管理強化、衛生害虫対策の専門家等による衛生管理指導の実施等を支援するとともに、家畜の伝染性疾病の監視・診断体制の構築・強化、ランピースキン病ワクチンの確保、防疫作業の効率的かつ持続的な方法の検証を行います。
 - ③ 野生動物におけるアフリカ豚熱の防疫体制の整備に向けた支援をします。
2. 家畜の伝染性疾病の海外からの侵入防止 1,935百万円（前年度 1,792百万円）
- 動物検疫所において、アフリカ豚熱等の侵入を防止するため、入国者への質問・検査、検疫探知犬の探知業務、制度の周知・広報活動の実施、違法に輸入された畜産物の検査・廃棄等、水際検疫措置を一層強化します。
3. 産業動物獣医師の育成・確保 404百万円（前年度 294百万円）
- 産業動物獣医師への就業を志す獣医学生等に対する修学資金の給付、獣医学生のインターンシップなど産業動物分野への関心を高める取組、遠隔診療等による適時適切な獣医療の提供体制整備についての取組等を支援します。
4. 水産防疫体制の充実・強化 91百万円（前年度 83百万円）
- 水産動物の防疫上重要な疾病のサーベイランス等の実施、遠隔診療技術と電子カルテ等を活用した広域迅速診断体制の構築等を支援します。



<事業イメージ>



[お問い合わせ先]

(1、2の事業) 消費・安全局動物衛生課 (03-3502-5994)

(3、4の事業) 畜水産安全管理課 (03-6744-2103)